

成果指標の評価方法について

1. 成果指標の概要

第3次町田市環境マスタープランは、基本目標ごとに複数の成果指標を設定し、成果指標により基本目標の施策の進捗状況を評価することとしています。

2023年8月に開催された第85回環境審議会では、「第3次町田市環境マスタープラン2022年度進捗報告」として進捗を報告しました。評価方法についてのご意見をいただいたため、この度評価方法を見直しました。

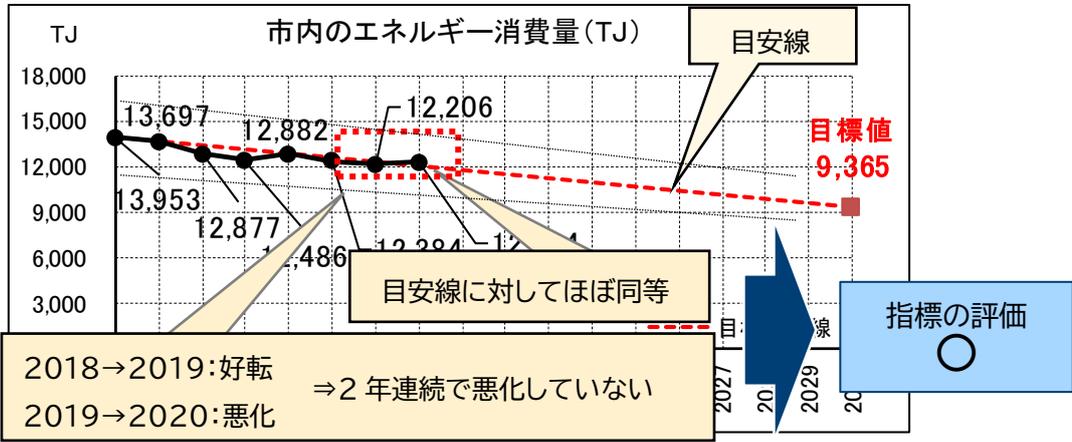
2. 成果指標の評価方法

2.1 第85回環境審議会報告での評価方法

下記の方法で成果指標を評価しました。

- ・ 基準年度の基準値から目標年度の目標値へ直線的に目安線を引き、各年度の達成すべき目安値とします。
- ・ 実績値が目安値を達成しているか、前々年度からの推移で評価します。

指標の推移		指標の評価
目安値を達成した場合 (目安線に対して20%以上乖離して達成)	2年連続で悪化していない	◎
	2年連続で悪化している	○
目安値に対してほぼ同等の場合 (目安線から上下20%以内)	2年連続で悪化していない	○
	2年連続で悪化している	△
目安値から大きく乖離している場合 (目安線に対して20%を以上乖離して未達成)	2年連続で悪化していない	△
	2年連続で悪化している	△



2.2 ご意見を踏まえた評価方法

環境審議会でのご意見を踏まえ、成果指標の評価方法は分かりやすさや評価の妥当性などの観点から総合的に検討し、以下の方法としました。

単年度における目安値の達成、未達成だけでなく、二か年の推移も反映させることで評価結果を踏まえた施策への反映をしやすいものとした。

- ・基準年度の基準値から目標年度の目標値へ直線的に目安線を引き、各年度の達成すべき目安値とします。
- ・実績値が目安値を達成しているか、かつ前々年度からの推移で評価します。

指標の推移		指標の評価
目安値を達成した場合	2年連続で悪化していない	○
	2年連続で悪化している	△
目安値が未達成の場合	2年連続で悪化していない	△
	2年連続で悪化している	×

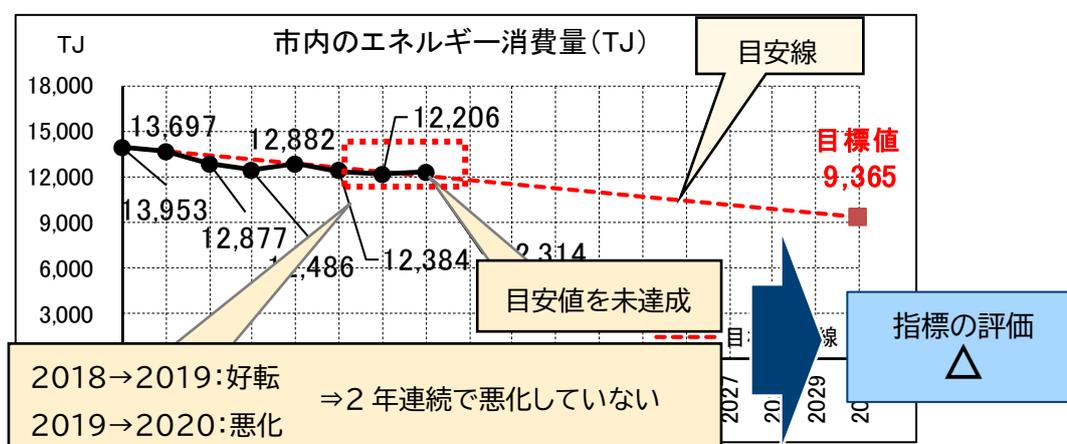


図 2.2 評価方法 (例)